横浜市立 本牧南小学校　令和 4 － 6 年度版　中期学校経営方針　（ 令和 5 年度修正 ）

学校教育目標	目指す子どもの姿「元気いっぱい　やさしさいっぱい　何でもチャレンジ　南っ子！ ～「ふるさと本牧」を担う子どもの育成～ 知　○問題解決の力を高め、自ら問題を解決しようとする、実践力を育てます。 徳　○思いやりの心を高め、相手の立場を尊重し協力できる態度を育てます。 体　○活動に必要な力を高め、知識・技能の基本を習得し、健康な体力づくりができる力を育てます。 公　○自分たちのまち、そして横浜を愛し、地域やものを大切にする態度を育てます。 開　○多様な人たちの中でコミュニケーションの力を育み、社会の変化に対応する力を育てます。

学校概要					
創立　52　周年	学校長　中村　宏	副校長　杉山　ももこ	2　学期制	一般学級：9	個別支援学級：5
児童生徒数：　251　人	主な関係校：　大鳥中学校・本牧中学校・間門小学校・本牧小学校・大鳥小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
■主体的に社会参画する姿勢 ■他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 ■夢や目標をもち、生き方を追求する姿勢

大鳥中・本牧中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
大鳥中学校 本牧中学校 間門小学校 本牧小学校 大鳥小学校 本牧南小学校	「ふるさと本牧」を担う子どもの育成 ～子ども・家庭・地域・教職員の連携の充実を通して～ ○本牧のまちと関わりながら学び、まちを大切にする子ども ○多様性を尊重し、豊かなコミュニケーション力をもつ子ども ○学習や生活のよい習慣を身につけ、確実に自分の力を伸ばそうと努力する子ども ■2中4小合同　学校運営協議会の実施 ■2中4小合同　授業研究会の実施 ■各校による「あいさつ運動」の実施 ■各校による社会的スキル育成（「Y-Pアセスメント」活用） ■2中4小で「いじめ」についての認識及び対応の共有化

中期取組目標	
	3年間を通して、以下の5つの目標達成に向け、教育活動に取り組んでいきます。 ○質の高い学びの実現を図り、互いのよさを生かし思いや考えを生き生きと表現する子を育ます。 ○自尊感情を高めるとともに、人権意識を育み、互いを尊重し合える子を育てます。 ○「食事・睡眠・運動」の大切さを知り、基本的生活習慣を身に付け、健康づくりに自ら取り組む子を育てます。 ○地域の歴史や伝統文化を学ぶとともに地域の方々との交流を深め、「ふるさと本牧」を愛する気持ちを育てます。 ○ESDの理念のもと、多様性を尊重し、地域「ふるさと本牧」及び社会に貢献しようとする心を育てます。

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①40分授業をスタートさせ、児童の学習への負担感を減らすとともに、メリハリをつけた質の高い学びの実現を図る。 ②重点研を通して、問題解決的な学習及び「聴き合い」を大切にした対話的な学びの充実を図り、「互いのよさを生かし、思いや考えを生き生きと表現する子」の育成を目指す。 ③算数少人数指導、漢字検定等、児童の基礎的基本的な学力の定着を図る。
担当	教務部 研究部 評価学力委員会	
徳	豊かな心	①人権教育実践推進校として、SDGsを意識づけながら人権教育を推進する。「ｼﾄﾗｽﾘﾎﾞﾝﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ（ｼﾄﾗｽﾘﾎﾞﾝﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ＋りんごﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ）」、年2回の人権週間（月間）の設定、人権を意識した「まんまる学級目標」の設定、運営委員会によるあいさつ運動の実施等、児童の自尊感情を高めるための取組を行い、豊かな心を育む。 ②幼保小の連携を深め、やさしさや思いやりの心を育む。
担当	人権・徳育委員会	
体	健康教育	①体育科の授業の充実、「南っ子健康アップ大作戦」の取組を通して、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基盤を育むとともに、コロナ禍で低下した体力の向上を図り、けがの防止にも繋げていく。 ②年間計画に基づいた歯科指導をベースにして、全校参加の学校保健委員会や日々の保健指導などを通して、基本的な生活習慣の定着を図る。 ③食育の充実を図り、「食事の重要性」「伝統的な食文化」「心身の健康」について実感を伴った理解に繋げる。
担当	健康教育委員会、体育部、食育部	
公開	ESD/SDGs	①SDGs達成のための担い手育成（ESD）推進校として、17の目標を意識しながら教育活動を進めるととも、地域（ふるさと本牧）と積極的にかかわっていく。 ②重点研及び情報発信基地としての学校図書館を中心に、子どもたちにSDGsを意識づけ、ICTも活用しながらESDを推進する。
担当	研究部	
特別支援教育		①特別支援Coを中心に、校内の支援体制を整えるとともに、個別の指導計画・個別の教育支援計画をもとに、保護者とも連携し、特別支援教育の充実を図る。 ②個別支援学級と一般級との情報共有を密にし、日頃から交流時の様子を情報交換して、児童が安心して学習できる支援や環境づくりを推進する。
担当	特別支援委員会	
児童指導		①児童一人ひとりが安心・安全な学校生活を送るために、本牧南小スタンダードをもとに、全教職員で共通理解を図り、学校全体でどの児童にも同じスタンスで指導・支援を行う。 ②YPアセスメントを活用し、子どもの社会的スキルの育成状況をつかみ、年齢相応の社会的スキルを身に付けるための支援を行う。
担当	児童指導委員会	
いじめへの対応		①教職員がいじめに対するアンテナを高くし、授業や日常生活の中での児童の様子を丁寧に見取るとともに、定期的に児童へのアンケートを実施し、迅速で適切な対応に努める。 ②専任を中心として、いじめ防止対策委員会の実施、教職員間での情報共有の徹底を図り、いじめの未然防止と再発防止に努める。
担当	児童指導委員会	
自分づくり（キャリア教育）		①児童一人ひとりが、働くことの意義や尊さを理解し、将来に夢や希望、目標をもてるようにするため、出前授業や出張授業、まちの人達とともに活動をする学習に取り組む。
担当	教務部	
人材育成・組織運営（働き方）		①主幹教諭を軸とした組織を構築し、学校運営の改善に努める。 ②職員間のコミュニケーションを円滑にし、風通しのよい職場環境を整える。 ③メンターチーム373を中心に、経験年数の少ない教員の授業力・児童指導力の向上を図る。 ④40分授業を実施することで生まれる放課後の時間を有効活用する。
担当	メンターチーム　教務部	
安全教育		①防災に対する意識を高めるとともに、避難の仕方・家族の約束事等、様々な災害時における適切な避難についての指導を行う。 ②訓練を通して、一人ひとりが考え、自分の命を自分で守る行動をとることができるようにする。
担当	安全教育委員会	